



# 建築課タイムズ

Architecture Division Times

第41号 令和2年11月

## 二川南小学校の改修工事がしゅん工しました

昭和63年に開校し、市内で最初のオープンスペースを持つ学校としてつくられた二川南小学校が令和2年11月にしゅん工を迎えました。特徴的な広い廊下や、可動間仕切で仕切られた教室では積極的な木質化を図り、あたたかみのある木材に合わせた家具や床材、色を用いることで全体の調和を保つよう設計されています。今月号では、改修にあたってのこだわりポイントや担当者の考えについてご紹介します。

### ポイントその1

### 開閉しやすい可動間仕切



既設で使用されていた可動間仕切は、上部のレールに合わせて動かす吊り戸式ということもあり、開け閉めがしづらい状態でした。これを上下で支えられた横引き戸に改修したことによって子どもたちでも開け閉めがしやすく、多様な学習形態にあわせてより利用しやすい間仕切となりました。



### ポイントその2 木質化されたトイレ

木に囲まれたあたたかみのある学校を目指すため、さまざまな箇所に使用される杉板。これまでの校舎や体育館の新築・改修工事において木質化を図る方法のひとつとして、タイムズでも度々取り上げてきました。

二川南小学校では、トイレの内壁にも木質化を取り入れました。また床には木目調で防汚性能のある塩ビシートを使用することで、フローリング仕上げの廊下と一体化した、ご家庭にもあるような温もりあふれるトイレをイメージしました。

←丸型の鏡がかわいくてお気に入りです♪  
タイムズ 編集者

### 【お気軽にお問い合わせください】

豊橋市建設部建築課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地（豊橋市役所東館10階）

TEL：0532-51-2563 FAX：0532-55-9091 (<http://www.city.toyohashi.lg.jp/34397.htm>)

工事期間中は、皆様にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

維持管理、予防保全的改修等のアドバイスを  
しています。ぜひご相談ください。



1階



2階



3階

### ポイントその3

## 家具としての流し台

学校やトイレの流し台を改修をする際、主にステンレス製の流し台が用いられます。シルバーで光沢のある流し台の見た目は洗練されていてスマートな印象がありますが、それと同時に、無機質なイメージも見受けられます。

「広い廊下を教室の一部として利用する」という二川南小学校ならではの特色に着目し、教室に置かれる“家具”とみなし、木の雰囲気に調和するようにタイルや化粧板を張るという工夫を凝らしました。

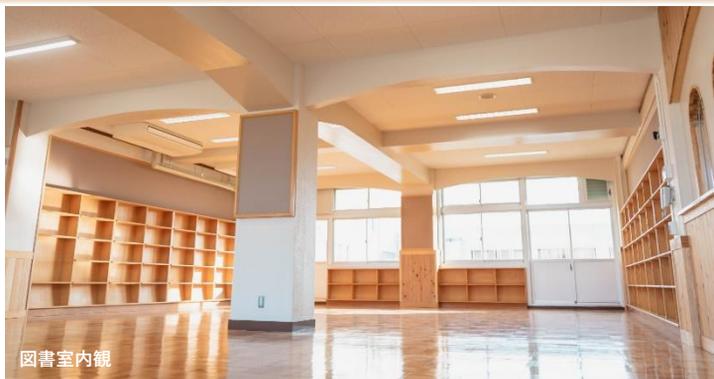
各階で色分けしている点にも、こだわりが伺えますね♪

### ポイントその4

## 改修範囲の見極め



廊下奥：図書室間仕切壁



図書室内観

全てのものが一新される新築工事とは異なり、改修工事では対象範囲の何もかもに手を加える、というわけではありません。そのため、改修する範囲とそうでない範囲、部分的に手を加える範囲といったように、適切な改修を行うために現況の見極めが必要となります。図書室は塗装や間仕切壁、照明等のみを改修し、掲示板や書棚等は既設のままとしています。まるで手を加えたかのように雰囲気に馴染んでいます。

## その他、改修を終えた二川南小学校の様子を紹介します



玄関



教室



多目的トイレ



家庭科室



配膳室



階段

### 監督員にインタビュー！

### Q. 工事を通して楽しかったこと、大変だったことを教えてください！

A. 今回、校舎大規模改造工事の設計から工事監理までを初めて通して経験しました。分からないこともたくさんあって大変でしたが、学校の先生も工事業者さんも最後まで工事に対して協力的で、しゅん工まで楽しく仕事できました！これから学校を使っていく子どもたちや先生方の反応が気になります（#^o^#）

監督業務を進めていく中で特に難しかったのは、色決めです。教室の間仕切は、発注から製作終了までに長い期間を要することもあり、早い段階で色を決めることになります。その色味に合わせてその周辺の色を決めるという制約もあり、あちこちの色決めに悩みましたが、同時に勉強にもなりました。

協力いただいた学校の皆さま、業者の皆さま、その他関係者の皆さま、本当にありがとうございました！



専任監督員のSさん